

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●天皇賞(秋)はモーリスが優勝

10月30日(日)の天皇賞(秋)(G I)ではモーリス(牡5歳/美浦・堀宣行厩舎)が優勝しました。

### ●C.ルメール騎手がJRA通算500勝を達成

10月29日(土)の4回東京8日・第5レースではパルティトゥーラが1着となり、同馬に騎乗したクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)は、現役32人目となるJRA通算500勝(3165戦目)を達成しました。外国人騎手のJRA通算500勝達成はミルコ・デムーロ騎手に次いで史上2人目。3165戦目での500勝達成は、現役騎手では武豊騎手(3088戦目)に次ぐ2番目に早い記録となりました。

### ●杉山晴紀調教師が初勝利、岩戸孝樹調教師は200勝を達成

10月29日(土)の3回新潟5日・第7レースではゼンノスサノヲが1着となり、同馬を管理する杉山晴紀調教師(栗東)は、10月22日(土)の初出走から数えて6戦目でJRA初勝利をあげました。また第10レースの柏崎特別ではラベンダーメモリーが1着となり、同馬を管理する岩戸孝樹調教師(美浦)は、現役106人目となるJRA通算200勝(3955戦目)を達成しました。

### ●3回新潟競馬リーディングジョッキーは吉田隼人騎手

10月30日(日)をもって3回新潟競馬が終了し、この開催で6勝・2着5回の成績をあげた吉田隼人騎手(美浦・フリー)が、6勝・2着2回の木幡巧也騎手を抑えて開催リーディングジョッキーとなりました。

### ●ショウナンパンドラらの競走馬登録抹消

2014年秋華賞(G I)、2015年ジャパンカップ(G I)などを制したショウナンパンドラ(牝5歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算18戦5勝)、2014年毎日王冠(G II)などの勝ち馬エアソミュール(牡7歳/栗東・角居勝彦厩舎/JRA通算28戦10勝)、2014年ラジオNIKKEI賞(G III)の勝ち馬ウインマーレイ(牡5歳/美浦・高木登厩舎/JRA通算25戦3勝)は、11月2日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ショウナンパンドラは北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となり、エアソミュールは岡山県吉備中央町の吉備高原サラブレッドトレーニング、ウインマーレイは繋養先未定ながらも乗馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●JBCはアウォーディー、ダノンレジェンド、ホワイテフーガ

JBCクラシック(Jpn I、11月3日、川崎、2100m)は、6番手前後から差を詰めた2番人気のアウォーディー(武豊騎手、牡6歳、父ジャンゲルポケット)が差し切り勝ち。3番人気のホッコーマルエが1/4馬身差の2着に入り、サウンドトゥルーは3着、ノンコノユメは4着、1番人気に推されたコパノリッキーは5着、クリソライトは11着に敗れました。

JBCスプリント(Jpn I、11月3日、川崎、1400m)は、先手を取った3番人気のダノンレジェンド(ミルコ・デムーロ騎手、牡6歳、父マッショウノ)が、単勝1.9倍で1番人気のベストウォーリアを3馬身引き離して楽勝。コーリンベリーが3着、レーザーバレットは4着、ドリームバレンチノは10着でした。

JBCレディスクラシック(Jpn I、11月3日、川崎、1600m)は、3番手から直線に入って間もなく先頭に立ったホワイテフーガ(牝名正義騎手、牝4歳、父クロフネ)がレッツゴードンキに1馬身半差を付け、1番人気に応じてこのレース連覇を達成。タマノブリュネットは4着、2番人気のトロワボヌールは5着、タイニーダンサーは7着、3番人気のアムールブリエは9着に終わっています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●メルボルンカップ〜アルマンダンが激闘を制す

“国の活動を止めるレース”とまで言われるオーストラリアのG1メルボルンカップ(芝3200m、ハンデ、1着賞金360万豪ドル=約2億8500万円)が11月1日にVictoria州のフレミントン競馬場で行われ、地元オーストラリアの調教馬アルマンダン(騾6歳=年齢はJRA発表、父モンズーン)が縦長になった馬群の中団追走から直線で末脚を伸ばすと、最後はアイルランドから参戦したハートブレイクシティーとの激しい追い比べを0.2馬身差で制して優勝。G1初制覇を大舞台で果たしました。日本から出走したカレンミロティックは先行しましたが、最後の直線ではすでに余力がなく、23着に敗れています。勝ったアルマンダンは、母国ドイツの調教馬だった14年6月にG2バーデン企業大賞(芝2200m)で重賞初制覇。オーストラリア移籍後は怪我で出走態勢が整わず、2年以上もレースから離れていましたが、今年9月に準重賞で久々に勝利をあげると、続く前走10月のG3ザバートカミングス(芝2500m)も連勝してここに臨んでいました。勝利騎手のK.マカヴォイ、調教師のR.ヒックモットはともにこのレース2勝目。馬主のひとりであるL.ウィリアムズは歴代最多記録となる5勝目となりました。